

平成 29 年度北海道立生涯学習推進センター研修事業
課題対応型学習活性化セミナー【道東会場】事業報告

I 事業の概要

研修テーマ 共に地域づくりを進めるために
～活動をつなぐための方策について～

- 1 趣 旨 現代的・社会的な課題解決に向けた地域住民の主体的な行動を促す学習活動を活性化するため、新たな学習スタイルの創出や他機関や団体との連携・協働を含めた具体的な方策に関わる専門的な知識や技術の習得に関する研修を行う。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
オホーツク管内社会教育主事会
- 4 期 日 平成 29 年 10 月 3 日（火）
- 5 会 場 北見市留辺薬町公民館（北見市留辺薬町上町 61 番地）
- 6 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員、
各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員等）
生涯学習・社会教育関連施設職員、青少年教育施設職員、
社会教育関係団体職員等 20 名
- 7 参加状況 20 名（社会教育関係職員 20 名）
- 8 日 程

10:00		10:30	12:00		13:00	13:40		15:40
受付	開会	基調講演			昼食	事例研究	協議	



9 活動の概要

(1) 基調講演「オケクラフトに学ぶ地方創生時代における社会教育行政の在り方」

【講師】北海学園大学非常勤講師（元置戸町社会教育主事） 矢崎 秀人氏

【内容】「オケクラフト」の事例や置戸町社会教育計画の策定を軸に社会教育行政の在り方について御講演いただいた。



(2) 事例研究「オホーツク管内における社会教育事業の状況」

【講師】遠軽町教育委員会社会教育課係長 中南 秀隆氏

【講師】西興部村教育委員会主幹 黒田 正美氏

【内容】それぞれの教育委員会における社会教育事業の状況について、まちの変化や社会教育事業の変遷等についてお話しいただいた。

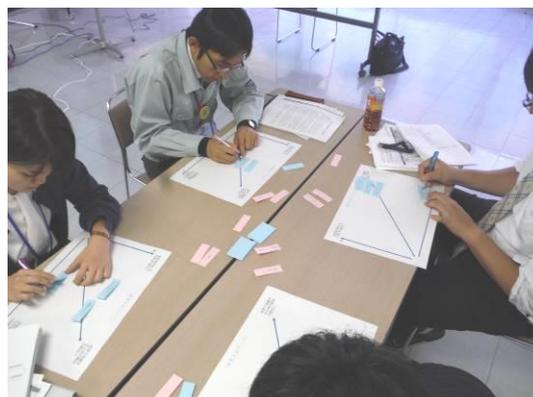


(3) 協議

【進行】北海道立生涯学習推進センター主査 尾山 清龍

【進行】北海道教育庁オホーツク教育局教育支援課社会教育指導班主査 風間 直樹

【内容】オホーツク管内における社会教育事業や社会教育関係職員の配置等の社会教育を取り巻く状況についての説明の後、演習をととして、既存の事業を分析するための手法を学ぶとともに、講義・事例研究、各市町村の事業業況の交流から得られた住民主体の地域づくりに向けた今後の方策等について協議した。



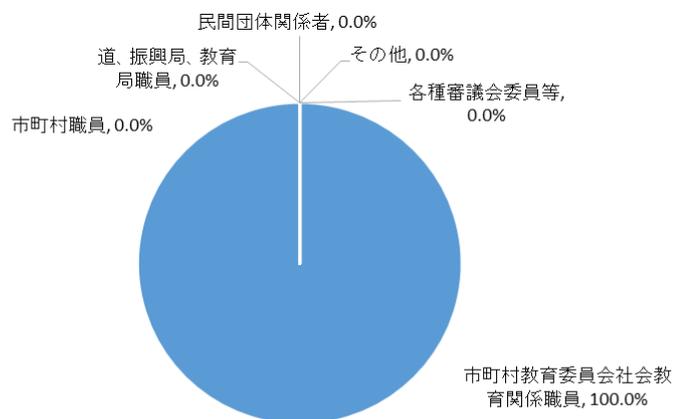
Ⅱ 事業の満足度

1 本講座参加者数 20名

(内訳) 社会教育関係職員の参加者数 20名(100%)

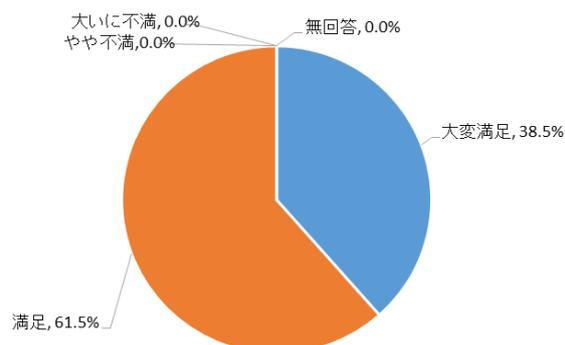
2 アンケート対象者数 20名 回答者数 13 (回収率 65%)

参加者(所属)状況



3 講座全体をとおして

総合満足度	大変満足・満足 100%
-------	-----------------



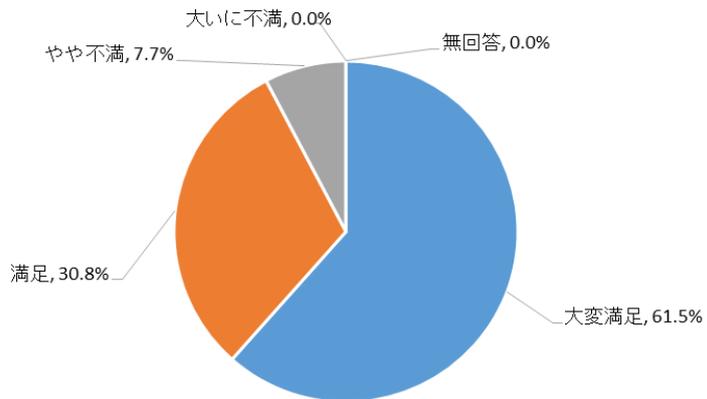
【参加者の主な声】

- 協議の内容と基調講義の内容が一致していて良かった。
- 他市町村の取組や現状について協議できた。
- 産業と社会教育、何を事業で優先すべきなのか等いろいろな話が聞けて参考になった。



4 研修プログラムの内容について

(1) 基調講演「オケクラフトに学ぶ地方創生の時代における社会教育行政の在り方」



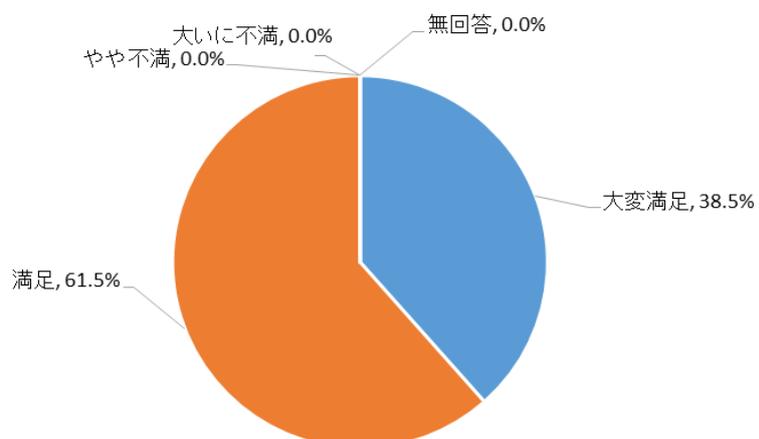
【参加者の主な声】

- 一つの素材（きっかけ）から様々な活動に広げる場づくり、人づくりが町の活性化、地域の教育力の向上につながることが分かった。
- 図書館の活用に興味がわいた。
- 住民協働による地域活性化は時間を要することを改めて理解した。
- 午後の部会でも矢崎先生に関わってもらえばよかった。



(2) 事例研究「オホーツク管内における社会教育事業の状況」

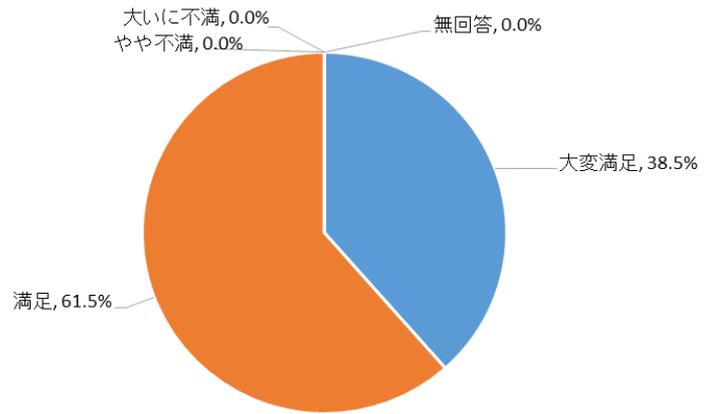
(3) 協議「共に地域づくりを進めるために」



【参加者の主な声】

- 目に見えて自町の事業について理解できた。また、多町からのアドバイスも効果的だった。
- 事業の視点や整理の仕方を理解できた。
- 他の管内の取組を知ることができとても参考になった。

5 研修講座の運営について



【参加者の主な声】

- 少人数で時間の調整が柔軟だった。
- 時間配分が適切だった。
- お昼休みの時間を守っていただき良かった。

6 その他、本講座を通して気づいた点

【参加者の主な声】

- 今後もこのような計画作成に生かせるようなワークをお願いしたい。
- 基調講演は、大先輩からの聞くことのない講演で、参加してよかった。

